

県立中央病院連携室だより

- ともに歩む地域医療 -

●発行月 令和7年4月

●発行 岩手県立中央病院 地域医療福祉連携室 〒020-0066 盛岡市上田1-4-1 TEL 019-653-1151 (代)

●URL <https://chuo-hp.jp/>

「地域医療連携推進の基本方針」

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 顔の見える連携 | 5. 24時間救急受け入れ体制 |
| 2. 地域連携バスと逆紹介の推進 | 6. 地域医療福祉連携室を通じた地域包括型連携の推進 |
| 3. 紹介患者の迅速予約と優先診療 | 7. 高額医療機器の共同利用推進 |
| 4. PHSIによるDr.Direct Call | 8. 地域医療研修センターの利用の推進 |

もう一度「顔の見える」地域連携を ～新年度院長交代のご挨拶～

令和7年4月より病院長を拝命いたしました臼田昌広です。
日頃より大変お世話になっております地域の医療機関の皆様へ、
この場をお借りして心より感謝申し上げます。

2020年から猛威を振るった新型コロナウイルス感染症の
流行がようやく落ち着き、本来当院が果たすべき急性期病院
の機能を取り戻していこうとした時、病院経営を取り巻く
環境は経営難という大きな課題に直面していました。まさに
蓋を開けてみたら・・・という感じです。県立病院全体の収支
は約78億円の赤字見込みと予想され、このままでは当院を
含めたこの地域の医療システムを維持することが難しい状況
と考えられます。

昨年4月から院内に「病院経営改善プロジェクト」を立ち上
げて、様々な視点で当院の経営改善を目指して取り組んでき
ました。基本メンバーは私(当時副院長)、業務企画室、医事
経営課、医療情報管理室、総務課、管財係、看護部長で、事
務は若手も参加、2週間に1度1時間集まってその時々問題
意識を持った課題に関してブレインストーミングをくりかえ
し対策を考え活動してきました。経営分析、各種加算取得率
改善、各診療科のDPC分析、患者さんを増やすには・・・など
など。その過程で病院経営改善の基盤になる重要なことに気
づきました。院内各部署間、地域の医療機関とのやりとりな
ど様々なレベルでのコミュニケーション不足の解消が必要と
いうことです。紹介をいただくにしても逆紹介をさせていた
だくにしても、日頃から良好なコミュニケーションが取れて
いることが前提になります。長年培ってきた地域連携の会も
コロナ禍を契機にことごとく中止となり、いつの間にかお互
いの顔が見えない状態に陥っていたと感じています。

コロナ禍以前当院で行われていた「救急隊との事例検討
会」、「紹介元医療機関の先生方への当院死亡症例検討会
参加依頼」などの再開を順次進めてきました。顔を合わせる
ことで、立場や役割は違っても、「患者さんの健康を守る」
という点で変わりはないという思いを共有できます。今後も
様々な機会を考えていきたいと思います。

さらに、現行の「地域医療連携ネットワークシステム」を
より便利なものにするために、紹介の受診予約がしやすく、
情報共有(画像などの検査データなど含む)がしやすいシステ
ムの導入と運用について検討を
始めました。紹介しやすい、
連携しやすい中央病院を目指
します。患者さんの行き来がスム
ーズになり、医療機関同士の
適切な役割分担が可能になる
ことを期待しています。皆様
ご存知の通り、現在の医療は
地域全体を「1つの病院」と
考え、地域連携を進めることが
不可欠です。今一度、お互いの
「顔が見える」連携を意識し、
皆さんと力を合わせて地域医療
に貢献できる高度急性期病院を
目指してまいります。

今後ともどうぞよろしく
お願いいたします。

岩手県立中央病院長
臼田 昌広



腫瘍内科(旧 がん化学療法科)の紹介

腫瘍内科(旧 がん化学療法科)のご紹介を申し上げます。

当科は2006年4月に創設されました。当院の中では新しい診療科に位置づけられますが、今年で20年目を迎えるにあたり、腫瘍内科に名称変更いたしました。この20年で、がん薬物療法の進展は目覚ましいものがあり、分子標的薬剤が大幅に増えましたし、免疫チェックポイント阻害剤が開発され、医療関係者のみならず一般の方々にもオブジーボという名前は広く知られるものとなりました。今や、免疫チェックポイント阻害剤に限っても、オブジーボ以外にも作用点を異にする数多くの薬剤が開発され、次々に臨床応用されています。制吐剤などの支持療法も発達し、ほとんどの治療は入院を要せず、外来にて行われるようになりました。20世紀では考えられなかった、就業しながら治療することが当たり前になってきております。

腫瘍内科領域は、がんを受け止めた上で人生設計を考え、生活の質を踏まえた治療選択を行うなど、実生活の様々な側面と関りがある領域です。先ほど述べました就業の問題や、経済的な負担など、がん化学療法という枠に収まりきらない内容も含まれます。この度、名称変更となりましたのは、診療の高度化・多様化に合わせることに加え、腫瘍内科が国内で認知された名称となっていることをふまえたものです。がん化学療法科の際は、略して「がんか」と呼ばれることも多かったのですが、電話などで眼科と混同しやすいという問題点もありました。今後は、腫瘍内科という名前を、頭の片隅に置いていただければと存じます。



※岩手県立中央病院のホームページ、腫瘍内科のご案内に掲載されております。



当科は新外来棟1階にあります。緊急時の対応も考慮し、外来化学療法室と隣接しております。2006年の当科開設時、外来化学療法室は8床でした。当院の規模としては貧弱なものでしたが、病床数の拡張、新外来棟への移転を経て2010年より30床での運用となっております。当初の約4倍の規模になったこととなります。

治療件数の増加、治療内容の高度化のため、がん薬物療法専門医以外にも、がん薬物療法認定看護師、がん専門薬剤師などの専門性の高い職種が協働して診療にあたる領域です。当科に通院中から、緩和ケアを並行して行うことも多く、緩和ケア認定看護師も診療に関わることも少なくありません。

個人的には、がん哲学外来市民学会の設立発起人であり、月一回、がん哲学セミナーを当科外来にて開催しております。『がん哲学外来 メディカル・カフェの手引き』(勇美記念財団研究助成)も発行しておりますので、ご覧になっていただければと存じます。また、ファイザーヘルスリサーチ振興財団から研究助成にて、『医療分野での意思決定』という研究も行っており、これらの成果も将来的に臨床応用されることを願っております。

是非、ご紹介を通じて、当科をご活用していただければと思いますし、がん診療に関して、『腫瘍内科』に、気軽にご相談いただければと存じます。

腫瘍内科長 加藤 誠之

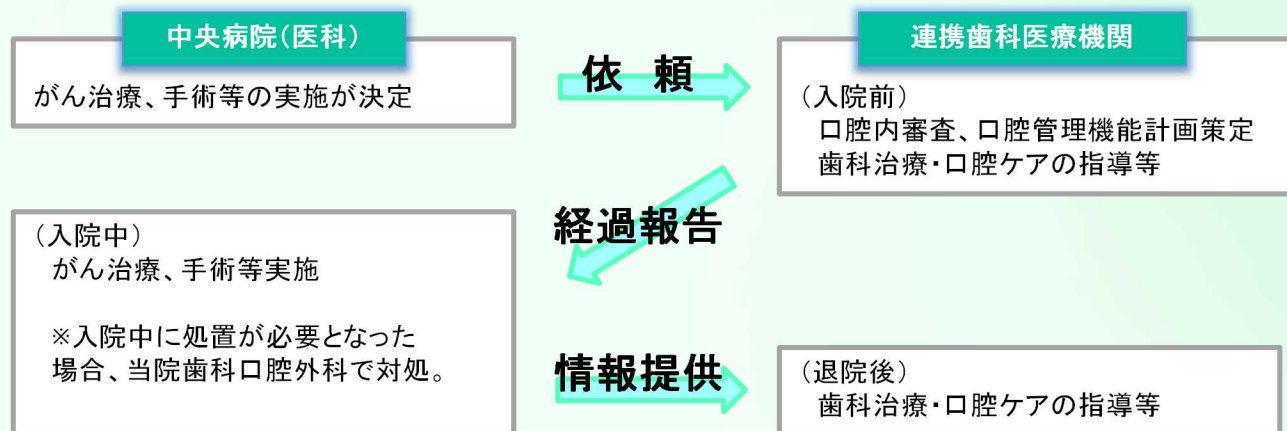
医 科 歯 科 連 携

岩手県立中央病院では、口腔衛生の保持による治療の質の向上を目的として、歯科医療機関様との連携による周術期口腔機能管理を運用しております。

○対象患者

①全身麻酔下の手術②がん治療(手術・化学療法・放射線治療)③緩和ケア④移植を受ける方
上記のいずれかに該当し、原則として御自身で口腔清掃等が可能で、歯科医療機関の受診を希望する方。

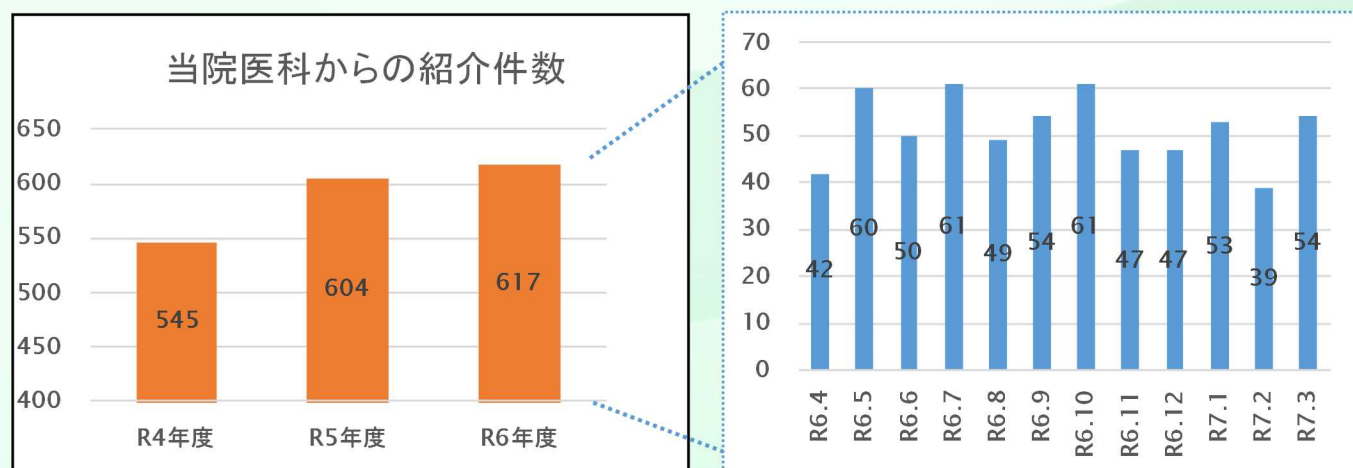
○医科歯科連携の流れ



○当院医科からのご紹介件数

現在、岩手県内352箇所の歯科医療機関様と連携し、ご紹介させていただいております。

当院医科からの紹介件数は、下の表のとおり毎年増加傾向にあり、連携歯科医療機関の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。



当院では、医科歯科連携の運用にご協力いただける連携歯科医療機関を募集しております。興味ございましたら、地域医療福祉連携室にお問い合わせください。また、各種様式、詳細については当院ホームページに掲載しておりますので、ぜひご参照ください。

地域医療連携ネットワークシステムのご案内

地域医療福祉連携室

当院での診療情報を、インターネット回線を通じて事前に登録した地域の医療機関で閲覧することができる『岩手県立中央病院地域医療連携ネットワークシステム』を運用しております。当院入院中の検査結果や手術所見、過去に遡っての画像検査、外来での定期検査の所見などをいつでも閲覧いただけます。

患者さんの医療情報がリアルタイムで共有できるため、円滑な医療連携を図ることができますので、まだご参加いただいていない先生方はぜひご検討をお願いいたします。

閲覧イメージ

《閲覧できる情報》

- ①血液などの各種検査結果 ②投薬・注射内容
- ③CT、MRIなどの画像情報 ④画像診断読影所見
- ⑤退院時要約 ⑥手術記録
- ⑦各種サマリー(看護、リハビリ等)

《対象となる医療機関》

システム参加申込をした医療機関（医科・歯科）

《対象となる患者さん》

システム参加医療機関と当院の双方を受診している、又は今後受診予定の患者さんのうち、システムについて説明し参加医療機関において当院の患者情報を閲覧することに同意を得られた患者さん。

《閲覧に必要な機器》

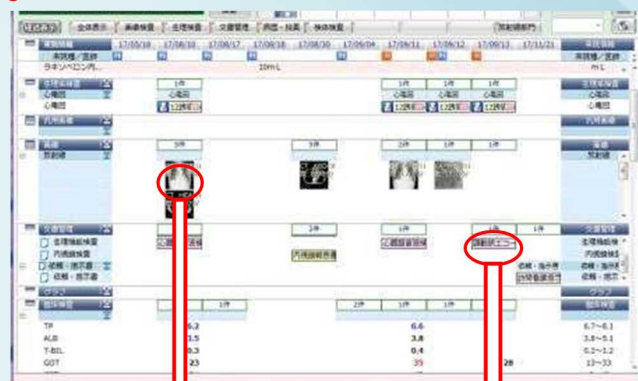
インターネット接続済のパソコン※Windowsのみ対応。

《システム利用料》

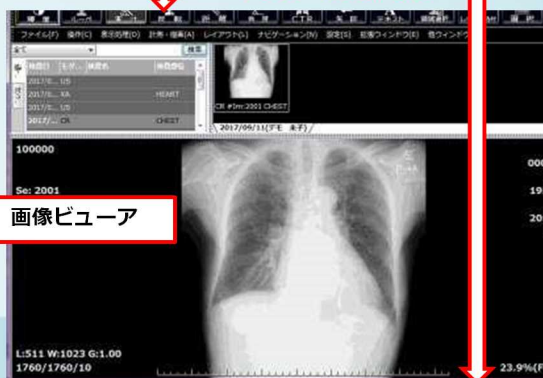
一切不要。インターネット端末に入れる専用アプリ等は当院から無償で提供いたします。

《システムの安全性》

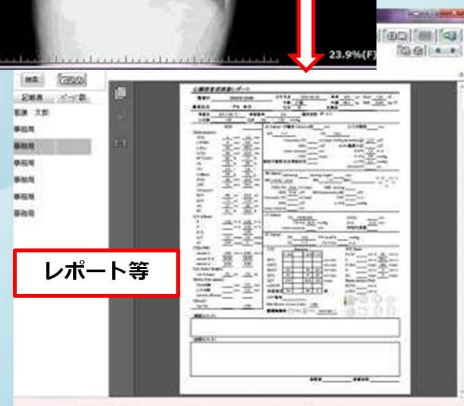
厚生労働省『医療情報システムの安全管理に関するガイドライン』へ適合しています。専用アプリの入った端末のみが安全に地域連携サーバ上のデータ参照を行うことができ、外部への不要なデータ漏洩も防止しています。



1クリックで参照可能



画像ビューア



レポート等

ご興味がございましたら当院地域医療福祉連携室 地域連携システム担当までご連絡ください。運用規定等、詳しい資料を送付させていただきます。

【受付時間：平日8時30分～17時 TEL：019-653-1151 地域医療福祉連携室】